

釜ヶ崎講座

大阪港郵便局私書箱40号

大阪市西成区萩之茶屋1-9-7

釜ヶ崎日雇労働組合気付

事務局 090-2063-7704

Mail kamakouza@cwo2.bai.ne.jp

<http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza>

<http://blogs.yahoo.co.jp/kamagasaki Kouza>

郵便振替 00940-1-132778 「釜ヶ崎講座」

1、第39回釜ヶ崎夏祭りが開かれます。

1972年より続けられてきた釜ヶ崎夏祭りが、今年も12日から15日まで開かれます。夏祭りは、単身の釜ヶ崎労働者にとって、ふるさとのお盆のような行事として親しまれてきました。今年も、この間の共通のスローガンになった「安心してはたらき、生活できる釜ヶ崎をつくろう！」の下に行われます。

8月12日 前夜祭 午後3時よりステージ、午後5時より集会、7時より映画上映。4時から昨年からはまったちんどんパレードが釜周辺を練り歩きます。

8月13日より15日まで、連日2時半より三角公園ステージにてアマ・プロの出し物が行われます。

13日には趙博さん、ハルマキチマキさん、SHINGO☆西成さんなどがあり、恒例ののど自慢大会（アコーディオン伴奏有り）は5時からです。

14日には連日のステージでの熱演が続き、4時からすいかわりとつなひき大会

15日は4時より夏祭り一番のすもう大会があり、6時から路上でなくなっていった仲間をしのび、安らかに送る慰霊祭が開かれます。最終日のステージは7時より恒例の曾野恵子さん、8時より三しんの会のエイサーで締められます。

連日8時よりやぐらの周りで盆踊りが行われます。また連日屋台が出、釜の労働者はリサイクル品で釜マネーに交換、屋台を利用できます。パネルでは諸団体がアピールをします。

明日への英気を養う夏祭り、なくなった仲間を思う夏祭りに参加してみませんか

別紙、資金協力をお願い、ステージスケジュールなど参照してください。

釜ヶ崎講座はパネルで、講座の発足からの取り組みを紹介し、闘いの中からの釜の現在を見つめる情報を出しますので、ぜひ

ひ見てください。

2、釜ヶ崎講座夏祭りツアーに参加しませんか

① 8月14日（土）

釜ヶ崎特掃見学ツアー

午前8時15分釜ヶ崎日雇労組合事務所集合

特掃登録から班分け、就労前打ち合わせから見学し、実際の特別清掃の仕事の現場、仕事を見学します。55歳以上の釜ヶ崎労働者の命綱になっている特別清掃の実際を見学することの中で、闘い取られてきた経過・意義についても学習します。

午後1時ごろには解散予定です。熱中症対策はきっちりとしてきてください。足元もしっかりしたもので、帽子に、長袖も用意してください。

移動の車の準備もあり、14日のツアーは事前に事務局まで申し込んでください。（090-2063-7704事務局か、06-6632-4273組合まで）前日まで受け付けます。

② 8月15日（日）

釜ヶ崎講座夏祭りツアー

午後2時三角公園やぐら下集合およそ3時間、5時には解散の予定です。事前の説明、事後の質問なども時間をとります。

案内は「釜ヶ崎の水先案内」の水野阿修羅さんです。テーマはその日のお楽しみ。歴史・芸能・文学・差別・地理など様々な切り口から、水野さん案内で釜を回しましょう。初めての人には釜ヶ崎の理解のための切り口になればいいにですが。毎年の方もまた「新たな釜ヶ崎」を発見するでしょう。

3、第一回釜ヶ崎講座連続ミニ学習会を行いました。6月12日（土）午後6時半より、「ふるさとの家」で、25名が集い、講師の水内俊雄さん

（大阪市立大学・都市研究プラザ／地理学教室）から「脱ホームレス支援における施設・住宅の役割と居住福祉という社会保障への展望」というテーマでお話をしていただきました。これまでの釜ヶ崎講座ではあまり触れられてこなかったテーマで、実際受け止めるのが必死というのが参加者の感想でした。水内さんには引き続きお話をお願いする予定です。10月か11月には、14回目の「講演の集い」も行う予定です。

4、会費の納入、カンパの振る込みをお願いします。

事務局の確立途上にあり、やっとこれまでカンパをお寄せいただいた方への御礼を、遅くなりましたが行ったところです。現在講座の規約では年度会費は1000円です。きっちりとした請求、報告にはまだ不十分な体制ですが、講座を支えているのは皆さんの会費・カンパのみです。よろしくお願ひいたします。会員になり支えていただく、参加しようと思われる方は、会費と振り込み用紙に記載していただくと整理ができます。よろしくお願ひいたします。